

「サライ」ここに幸あれ

園長 二瓶 英子

今年の夏、八月二十一日に行われた有明ふれあい夏まつりのお祭りステージに音楽クラブ員が出演、猛暑続きで練習も大変だったと思いますが、「きよしのズンドコ節」と「サライ」の二曲を合奏、素晴らしい演奏を披露し、お祭りを盛り上げていただきました。そのうちの「サライ」は二十四時間テレビのテーマソングとして有名ですが、日本テレビによると曲のテーマは「心のふるさと」で、「サライ」という曲名はペルシャ語の直訳で「宿（または家）」とこのことです。

現在、有明ハイツには九十一世帯九十三名の方からご利用いただいております。大きな家にたくさん家族が生活していることになりません。性格や考え方の違いもあり、人間関係にわずらわしさや戸惑いを感じることもあると思います。これまでに喜び、悲しみなど、たくさん経験の積み、時には幾つもの苦勞を乗り越え、人の痛みも優しさも十分に知っておられる皆様が有明ハイツで出会い、一緒に生活しているのも何かの縁があったからではないでしょうか。このつながりを大切に悩み事は分かち合い、喜びを共有しながら、自分らしく、今この時を楽しく過ごしていただきたいと思います。

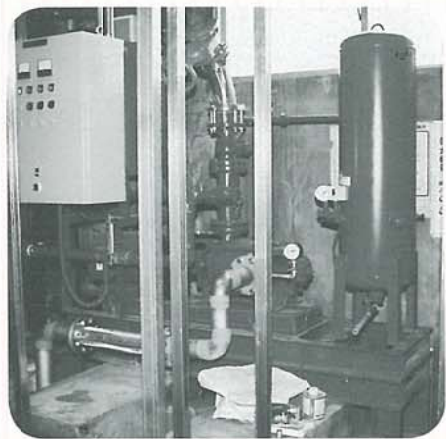
さて、有明ハイツは今年三十五年目を迎え、建物や設備の老朽化に伴い修繕しなければならぬ箇所が多々出ております。昨年度はエレベーター設備について、最新の制御機器・モーター等の改

修工事を行いました。また、今年三月に利用者の皆様の安心・安全な暮らしを確保するため、新潟市の補助金により全館にスプリンクラー設備を整備いたしました。日常生活を営みながらの施工でしたが、皆様の協力と施工業者の努力により無事故で竣工することができましたこと、心から御礼申し上げます。

なお、今年度の主な工事として、居室内のインターホンを取替え新しくした他、A棟居室ベランダの手すりの塗装工事等も実施いたしました。

軽費老人ホームは「在宅」として認められており、希望により介護保険サービス等を利用しながら生活していただくこともできます。生活の主役は利用者の皆様です。職員は利用者一人ひとりの「思い」「願い」「心」を大切に丁寧な対応に努め、皆様から「ここで生活して良かった、幸せだな。」と感じていただけてますよう、これからも職員一同、力を合わせ支援してまいります。今後とも一層のご理解とご協力をお願いいたします。

音楽クラブの夏まつりの演奏曲目「サライ」
（心のふるさと・家）
より、有明ハイツの幸せを願う表題とさせていただきます。



スプリンクラーポンプ

遊技場組合より「コイン式ガス乾燥機」の寄贈



苦情処理について

有明ハイツの提供するサービスについてご意見、ご要望、苦情等ありましたら遠慮なく、苦情担当受付担当者にご相談下さい。

また、施設に意見箱を設置しております。何かお気づきの点がありましたら遠慮なくお申し出ください。誠意をもって話し合いを行い解決、改善に努めます。

苦情解決責任者 園長 二瓶 英子
苦情受付担当者 福祉係長 上原田 紀子

すなはま

防災訓練



非常防災袋

災害時に肩にかけて避難。番号で安否確認できるよう考案しました。タオルやマスクなども入れてご利用ください。

***** 行事の紹介 *****



佐久間 カツ様 (88歳)



清野 マメ様 (88歳)



9/17 長寿を祝う会



高橋 作治様 (88歳)



塚原 庄吉様 (77歳)



6/8 ちまき作り



6/29 梅干し作り



7/30 納涼会



6/10 野外食



8/21 夏祭り 音楽クラブ出演



8/21 夏祭り けん玉名人

※誌面の写真についてはご本人の同意を得て掲載しています※



海のそばだったので、さんまやいわしはよく食べた。正月の塩づけがごちそうだった。

伊藤 ちよ

家が農家だった。畑で作ったスイカやメロンがおいしかった。裏が竹やぶで竹の子の煮つけをよく食べた。

大橋 ヨシ



子供のころ母が六月になると笹だんごとちまきを作ってくれた。たくさん作ってくれた。時期になると思い出す。

阿部 弥千代

家では夏オデンと言ってナス、トウガン、カボチャ、ミョウガ、ドジョウで母が作って食した事、懐しい思い。料理番組をみて、石川県の加賀の郷土料理だったとは!?

今井 敏子



懐かしい あの味 この味

母親が作ってくれた得意料理が茶わん蒸だった。貝柱、ぎんなん、しいたけ、具たくさん。母の味。大好きだった。

金子 光栄



青森で育った。おはぎも好きだったが、新鮮なおさしみをいつも食べていたからか、今もおさしみが大好きです。

清野 マメ



万代と新潟駅の間にあった「きん寿司」「こう寿司」「きぜん」というお寿司屋さんへ独身の頃よく行きました。

山岸 ヒデ



母親を小さい時に亡くし、母親代わりの姉が漬けてくれた「つけ菜」が大好きでした。

小石 ヨシイ

母が作ってくれたもつ入りのニラ玉とじ。自分でも作りました。

藤塚 リイ



懐かしい味

窯土で炊いた御飯のおこげの正油おにぎり、さつま芋とジャガ芋とトウモロコシと枝豆と南瓜をふかして塩をふったもの、炒り大豆を砂糖でからめたもの、いなごの佃煮などが懐かしい味です。

渡辺 キヨ

家族3人で初めて食べに行ったステーキ店がステーキ宮だった。文明開化の味がした。また食べてみたい。

長谷川 利與実

子供の頃の思い出

石田 ヨシ

北海道で生まれ、七人兄弟の末っ子として育った。母は厳しかったが父がその分優しくかった。冬は父と雪かきをし、そりで出かけた。雪の降る寒い時期は薪ストーブが部屋を暖めてくれた。春は父と兄が薪を割り、一ヶ月に一回は煙突掃除をしていた。夏は漁師の所へ魚貝を買いに行くと、子供だということでおまけをもらった思い出がある。お祭りになると白玉だんごを家でたくさん作り、氷の中に入れておく。正月は火鉢で餅を焼いた。そんな子供の頃の楽しかった思い出を時々思い出す。



若かりし頃

南波 松之助

私は病気の為、商業高校を中退して、家で休養していました。二十歳頃は特に健康的な運動は全くしませんでした。時々街を散歩したり、商店へ寄って買物をしていました。日本酒は飲みませんでした。ビールは十日に一缶くらい飲んでいました。長姉が映画館の事務員でしたので、姉から映画の招待券を貰って映画を観賞していました。私が少年時代、映画王国アメリカのハリウッド映画を観賞したのは、レッド・アステア主演のミュージカル映画でした。そして私が映画を観賞した感想が、一流評論家の雑誌の批評文と一致すると喜んでいました。

私の人生

渡辺 キヨ

小学校を卒業して二日後に東京へ子守に。六才で頭に三人、二か月後双児が生まれて五人となるが小さい子の面倒を見ることがなかった。八か月で新潟に戻って来ました。その後、新潟で一番の呉服屋で働きました。番頭が十八人いて、米を五升釜で炊くので腰を切るのがやっとな。かまどで炊いていました。その他いろいろな仕事をしました。

昭和十九年六月、新潟県から女兵隊で名古屋の三菱重工に行き飛行機の製造に携わりました。戦争が激しくなり指導者も戦地に行ってしまったため、造った飛行機は空中分解してしまい、あとは筆箱や弁当箱を作っていました。その後B二十九が爆弾を落とし防空壕に逃げるのがやっとなで、仕事はほとんど出来ませんでした。私の青春時代は戦争があったため、いろいろな仕事に就くしかない時代でした。

私の学生時代

古山 トモイ

私が二葉尋常高等小学校へ進学した頃、戦争が始まりました。学校ではほとんど勉強できず、新潟駅へ出征兵士を送る歌を歌に行ったり、中央埠頭へ義勇軍を送る歌を歌に行ったりしました。青山本村に住んでいたため、学校へは歩いて一時間程かかりました。途中、水道町の道路はアスファルトだったので、下駄が減らないよう、下駄をぬいではだして歩きました。私は長女なため、家では母親役をやりました。小二の時から薪でご飯を作り、朝は家族のご飯とお弁当を作り、おしめを洗ってから学校へ行き、おしめを洗って松かさやすずめ枝を拾いに来たこともあり



ある夏の一日

小川 俊夫

中学一年生の頃、友達三人で海水浴に行った。夏の太陽に照りつけられて、砂地は、灼熱の暑さである。アッチアッチと言いなながら、砂山を山越えながら浜辺についた。水着に着替えて泳ぎ始めた。疲れたので、休もうと思つて立ち上がった。「ズボットと頭までもぐってしまい、大分水を飲んだ。引波にのまれて、沖へ流されてしまったらしい。驚いて陸へむかって「助けてくれ」と大声でさげんだ。後はおほれかかった人を想像して下さい。と、左足の親指が土についた感じがした。右足は水中にぶらさがったまま。瞬間、「助かった」という思いが、頭の中をよぎった。三人並んで帰る時、変な音が聞こえる。大量の水を飲んだので、腹の中でぼちゃぼちゃと...

私の青春時代

野本 信

私の青春時代は戦争々々であけて居りました。それでも宝塚は公演をしていましたので、毎月出かけて楽しみました。空を眺めてB29が一機ですと東宝へ出かけたものでした。その後は、もはや負け戦ですから、夜もろくろく寝られぬ毎日を経験し、三月十日以降は、人間の生活とはいえぬ有様でした。東京は焼け野原で凄惨な有様でしたが、八月十五日のあとは、B29ともサヨナラ出来て、まあまあ生活に戻りました。今は、一応平和の日本で楽しい暮らしをさせていただき、九十才と思ってもかけぬ長生きをさせて頂いて居ります。ハイソの皆様、この平和を楽しんで暮らしましょう。

私の青春時代

柴田 義永

若い頃、「しらける」という言葉があったように思います。努力して、なにかになったところで虚無的な考え方がひそんでいたと思います。人間何のために生きるのかと考えた時、才能の可能性にかける時間を、幅広くのばしてみることと思います。名声とか、お金とか、地位とかは、人間が生きていく上の、対象であったようです。生きる喜び、働く喜び、幸福になるため生き、愛する人に心が伝わらない苦しみ、仕事が認められなくやしなさなど、青春時代思い描いた幸福に近づくことができたのか、難しいところです。

私の青春譜

松邨 典男

戦後転職の繰り返し、職種もいろいろ経験しました。中でも思い出に残る二十代後半、営業で銀座専門店、デパート廻りをしていた頃が夢に出ます。新潟に赴任当時は廊下トンビと云われた位活動して、北は村上、西は糸魚川、新潟市、佐渡、長岡各地を保冷車に同乗して毎日の様に駆け廻り、現在四分三世紀まで生存して足腰に悩んでいるのが残念です。八転七起の人生で苦勞の連続でしたが、考えるに楽しく愉快な人生であったと思われま。現在無理なく生活出来るのが何よりの老後です。一日も長生きして皆様と仲良く平凡な生活を続けたいと思います。



パチンコ大会

平成21年11月4日新潟市遊技場組合青年部の主催による「パチンコ大会」が行われました。その後、津軽三味線と民謡のアトラクションがあり楽しい一日を過ごさせていただきました。



楽しい時をありがとうございました

3/11 新潟女将の会
おいしいスイーツと足湯を楽しみました



6/7 美容室ピカソの慰問
マッサージとお化粧をしていただきました



5/26 南ロータリークラブの慰問
お寿司を握っていただきました



職員の異動



四月にケアハウス有明へ異動になりました。貴重な、かけがえのないハイソでの三年間でした。多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。

栗林 留美子



四月より異動になりました。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。

上原 田紀子



四月から懐かしいハイソで働けることになりご縁を感じています。初心を忘れず頑張りますのでよろしくお願いたします。

五十嵐 芳子

編集後記

夏の暑さも夢のよう十月に入りようやく秋を感じさせてくれる月を迎えました。これからもたくさんの方の行事があります。みな様に喜んで頂けるよう職員一同、頑張りますのでよろしくお願いたします。